

【国営施設応急対策事業】

お茶の水地区



お茶の水地区

— 安定した排水対策による農業生産性の維持 —

地域の農業

本地区は、空知総合振興局管内の岩見沢市及び石狩振興局管内の江別市に位置する農業地帯である。地域の営農は水稻を基幹として、小麦、大豆等の畑作物のほか、たまねぎ、かぼちゃ等の野菜類、花き類を組み合わせた複合経営が展開されている。



地元JAのブランド米「情熱米」



「まるいわ」ブランドで販売される野菜類



6次産業化や直売の取組み

地域の現状と課題

本地区の基幹的な農業水利施設は、国営美唄土地改良事業（昭和26年度～昭和43年度）等により整備されたが、幹線排水路では、鋼矢板護岸が倒壊・傾倒する不測の事態が発生している。また、排水機場においては機械設備や電気設備の動作不良等の性能低下が生じ、施設の維持管理に多大な費用と労力を要している。さらに、排水機場が大規模地震により損壊した場合、地域に甚大な被害を及ぼす恐れがある。



お茶の水排水路
護岸の倒壊



お茶の水排水機場
ポンプ設備の劣化
(漏水)



お茶の水第11支線
排水路
護岸の倒壊



お茶の水排水機場
排水樋門の劣化
(ひび割れ)

事業の目的

本事業では、これらの施設を保全するための整備と耐震化のための整備を一体的に行うことにより、排水機能の維持、施設の長寿命化及び維持管理の費用と労力の軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定に資するものである。

事業計画概要

受益面積 : 2,854ha

関係市町村 : 岩見沢市、江別市

主要工事 : 排水路 5.7km
排水機場 1箇所

主要作物 : 水稻、畑作物（小麦、大豆）、野菜類（たまねぎ、かぼちゃ等）

施設の整備

【現状】

- ・排水路の鋼矢板護岸の倒壊・傾倒
- ・排水機場の機械設備、電気設備等の動作不良等
- ・排水機場の耐震性不足



お茶の水排水路



事業の未実施

- 劣化等が進行し、
- ×施設の維持管理費の増高
- ×構造的な安定性の低下



- さらに、
- ×排水機能の低下
- ×湛水・湿害による安定生産への支障

お茶の水排水機場



事業の実施

- ◆不測の事態への対策
- ・排水路の改修

- ◆排水機場の長寿命化対策
- ・ポンプ、原動機、減速機、電気設備の更新
- ・樋門の補修

- ◆排水機場の耐震化対策
- ・吸込水槽耐震補強

維持管理の低減

農業生産の維持

